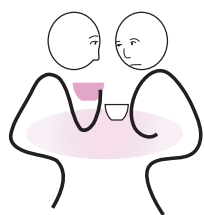


第4回 がん哲学外来 シンポジウム



“寄り添って生きる”

2013年 3月 9日(土)

時間：午後2時～4時30分

場所：お茶の水クリスチャン・センター
8階チャペル

基調講演： 順天堂大学医学部病理・腫瘍学教授 樋野興夫氏



樋野 興夫

順天堂大学医学部教授
NPO がん哲学外来理事長

【参加費無料】 どなたでも参加できます。但し、お申込みが必要です。

※申込締切り 3月1日。(定員250名になり次第締め切ります。)

《 がん哲学外来 シンポジウム・プログラム 》

【総司会】 榊原 寛 OCC副理事長、ワールド・ビジョン・ジャパン理事長

14:00-14:05 開会の挨拶

14:05-14:45 基調講演

14:45-15:15 質疑応答 (基調講演へのQ&A)

15:15-15:30 ブレイク

15:30-16:10 パネルディスカッション

16:10-16:25 質疑応答 (パネルディスカッションへのQ&A)

16:25-16:30 閉会の挨拶 吉川 研一 NPO がん哲学外来副理事長

・パネルディスカッション

【司会】 榊原 寛

【パネリスト】

佃 志津子 社会福祉士、精神保健福祉士

山崎 智子 上智大学総合人間科学部看護学科

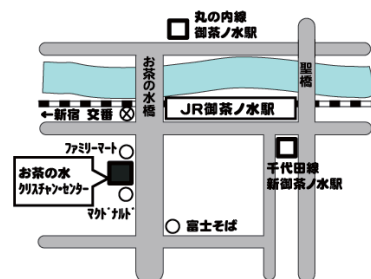
高橋 直美 ふれあい・コミュニケーションリーダー

ー であいさつ ー

医療に従事されている皆様、また、がんを患っておられる方々とご家族の皆様、そしてお友達の方々、そのほかの皆様が開かれる公開シンポジウムのご案内をさせていただきます。このシンポジウムでは、がん医療における患者と医療者のあるべき姿を考え、がん患者が笑顔を取り戻し、がんを持ちながらもその人生の主体性を持って生きること支援し、「がんとのより良い共存」が可能な社会を実現するための啓発活動として行われます。

「他人の苦痛に対する思いやり」は、医療の根本であり、患者の視点に立ったがん医療が求められる時代において、「偉大なるお節介」が新鮮なインパクトを与え、「受け身の踏み込み」と感情に対する手当が「医療の隙間を埋める架け橋」となることを目指しています。なお、昨年より開始された、「がん哲学外来 メディカル・カフェ in OCC」を主催する「お茶の水クリスチャンセンター」と共に開催することによって、より多くの方々の心の支援となるならば幸いです。

どうぞお誘い合わせてご参加くださいますようお願いいたします。



お申込み方法：裏面を FAX か、Web サイトより <http://ochanomizu.cc>

主催：NPO 法人がん哲学外来 (<http://www.gantetsugaku.org/>)、お茶の水クリスチャン・センター

連絡先：お茶の水クリスチャン・センター 千代田区神田駿河台 2-1 OCC ビル Tel：03-3296-1001 FAX：03-3296-1010